

研究の実施に関する情報公開

(受付番号 28)

岡山労災病院では、岡山労災病院倫理審査委員会の承認を得て下記研究を実施いたします。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

2016年2月23日

研究開発分野 : アスベスト関連疾患労災保険給付に係る決定等の迅速・適正化

研究開発テーマ : 石綿肺の適正な診断に関する研究

■ 研究責任者

副院長 岸本 卓巳

■ 研究期間

承認後～平成29年3月31日

■ 対象者

全国労災病院において石綿肺と診断された症例及び日本病理剖検輯報において石綿肺と診断された方。

■ 目的と意義

慢性間質性肺炎との鑑別が難しい石綿肺の正確な診断を行う為、HRCTを含む胸部画像のみならず、職業歴や職業年数さらには肺内石綿小体数あるいは繊維数から鑑別点を見出し、日常診療における慢性間質性肺炎と石綿肺鑑別を容易にする事を目的とします。

■ 方法

まず、各医療機関のカルテから、「年齢」、「性別」、「生年月日」、「職歴」、「病理標本番号」、「病理組織診断」及び「画像検査番号」の情報のみを抽出し、この情報に基づいて対象とする標本を決定します。各医療機関では個人情報管理者をおき、個人のカルテ等の情報ソースと「匿名化番号」の対応表は、個人情報管理者が厳重に管理し、研究責任者、研究分担者には渡しません。この対応表は、施錠可能なキャビネット等で保管します。

病理標本の提供にあたっては、個人情報管理者は技術職員に対して「病理標本番号」のみの情報を与え、これにもとづいて当該パラフィンブロックの薄切、染色を行います。完成した標本には、患者名の代わりに「匿名化番号」のみが記載され、提供されます。

また、本研究においては、石綿肺の鑑別診断について、多くの病理医、放射線科医、臨床医などの合議が必要であることから、最低限の患者情報は、インターネット通信によ

って情報交換されますが、SSL技術を用いた暗号化通信を行い、通信時のデータは保護されます。

これらによって、慢性間質性肺炎との鑑別が難しい石綿肺の正確な診断を行うことが可能か検討を行います。

※ この研究は、北海道中央労災病院との共同研究です。資料やデータの一部が、北海道中央労災病院へ提供されて解析されます。

※ 研究に試料を提供したくない場合は下記窓口にお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生じることはありません。

※ 当研究室が保有する個人情報の開示請求は下記窓口にお申し出ください。

■ 本研究に関する問い合わせの窓口の連絡先

岡山労災病院

副院長 岸本卓巳

〒702-8055

岡山市南区築港緑町 1-10-25

電話番号：086-262-9166

E-mail：nakisimt@okayamaH.rofuku.go.jp